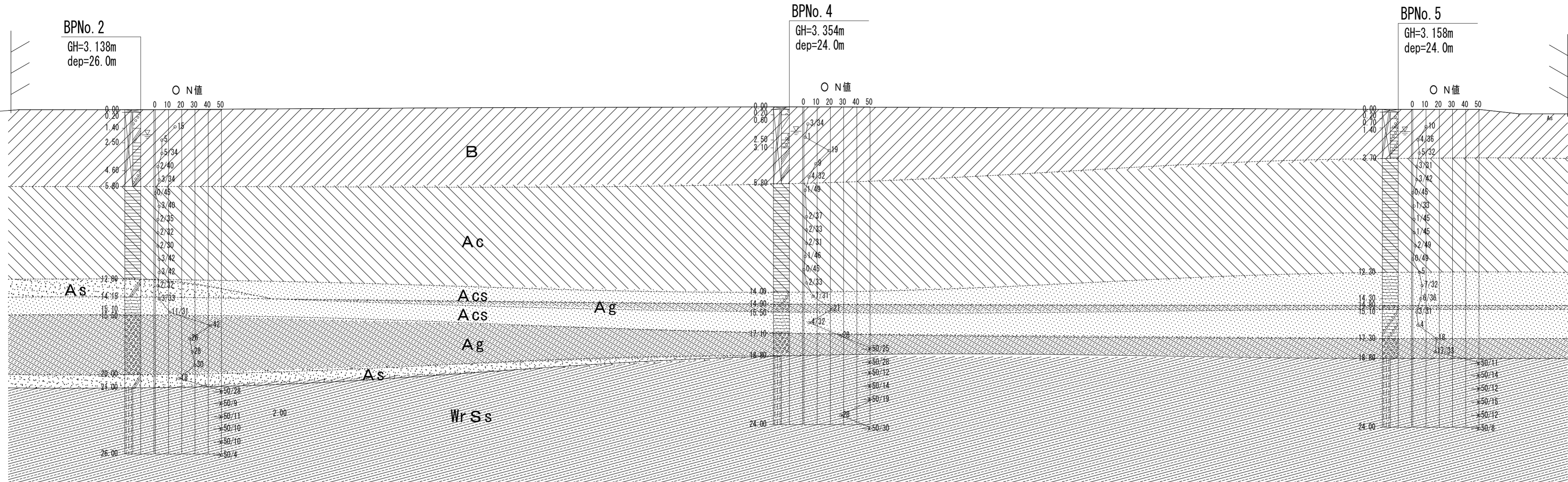
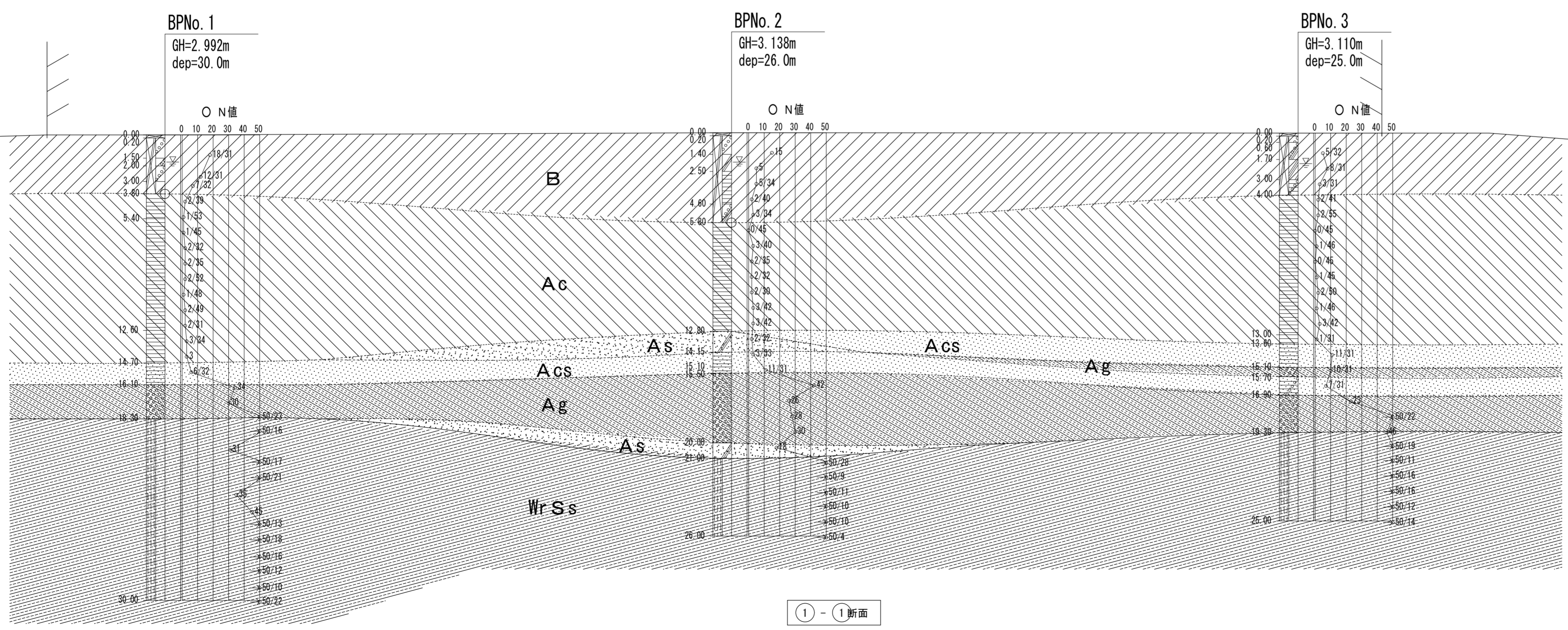


地質断面図

A1:1/200
A3:1/400



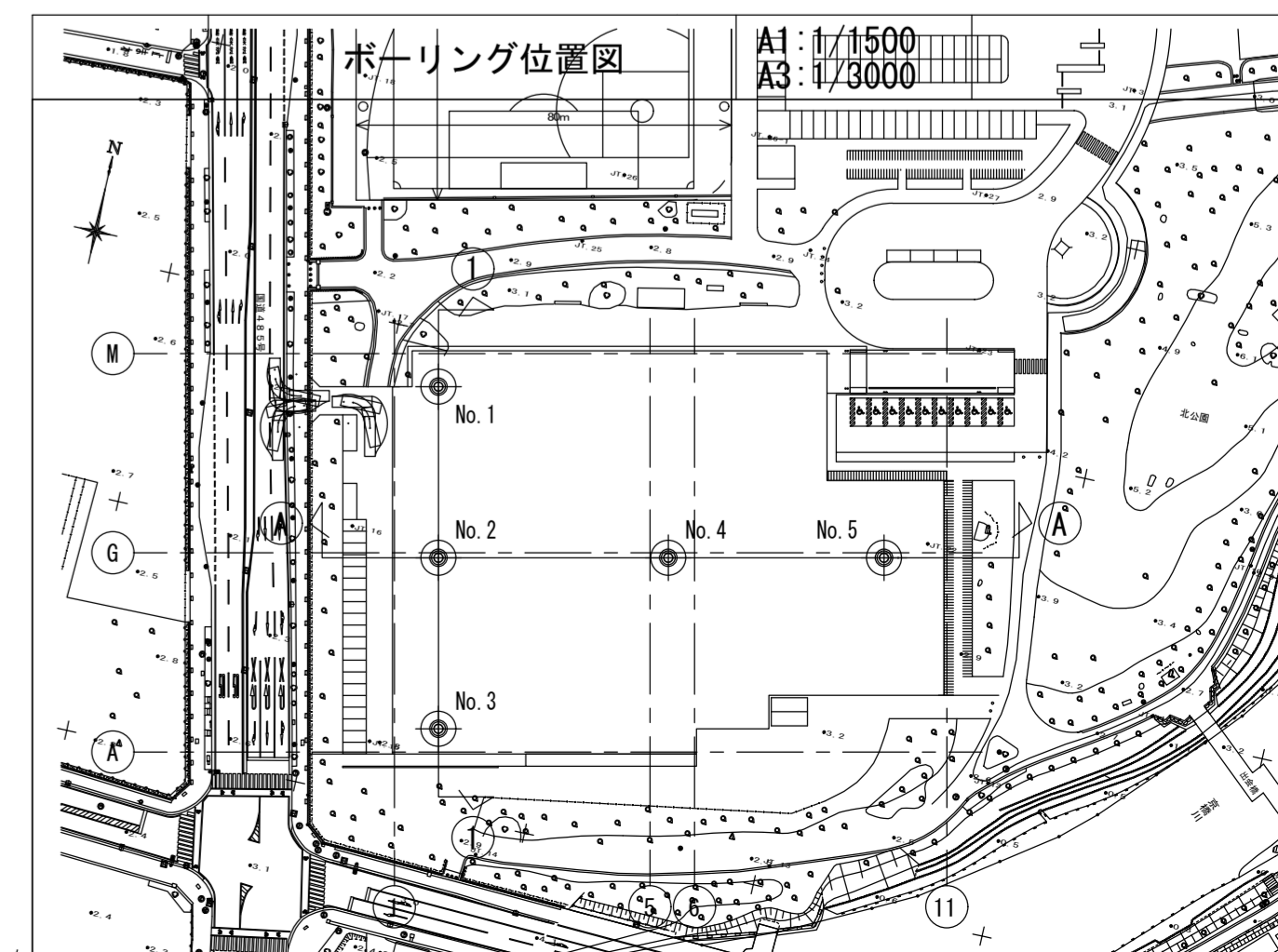
A - A 断面



1 - 1 断面

地質断面図凡例

地質年代	土質名	記号	N値	記事
現世	埋土	B	1~19	・層厚3~5.0m程度。(100mはグラウンド重土) ・数m厚の中央部、北西側でも0m程度、東~南西側で4.0m程度。 ・硬質粘土、砂質土、粘性土が混在。
	埋土	As	(2)	・層厚1.0~10.0m程度。 ・ほぼ均質な粘土主体の層。細~中砂分を部分的に含む。また、腐植物や貝殻を混入する。 ・粘性、含水ともに中位~大程度。
第四紀	粘土層~砂混り粘土層	Ac	0(自次)~3	・層厚1.4~7.0m程度。砂礫層を挟むような形で堆積している。粘性土主体の層で小礫分、細~中砂分腐植物を混入する。土質粘土層より硬くなる。 ・粘性、含水ともに中位~大程度。
	粘土層	Acs	3~11	・層厚1.4~7.0m程度。砂礫層を挟むような形で堆積している。粘性土主体の層で小礫分、細~中砂分腐植物を混入する。土質粘土層より硬くなる。 ・粘性、含水ともに中位~大程度。
	砂礫層	Ag	10~250	・層厚1.8~4.5m程度。西側部で層厚4.5mとやや厚い。6.10~30mm程度の亜角礫~亜円礫主体。砂分は細~粗砂主体。 ・含水は低~中位程度。下位は比較的締まっている。
新第三紀中新世	粘土質砂層	As	(2) 18	・層厚1.0m程度。(上位は層厚1.4m程度) ・西側部で2.1mほど部分的に認められる。 ・細砂分を部分的に混入した細~中砂主体の層。
	風化砂岩層	Wr Ss	≥50 (28~50)	・深部は18.8~21.0m付近より風化砂岩層となる。 ・全体に塊状(層状)~層状を呈するコアが主体。(塊状部は所々に層状を呈するコアがある) ・部・付設で局所的に固結度の低い部分がある。 ・部分的に炭化した腐植物が混在する。 ・軟弱1程度。



構-1